

成果の説明書

(氏名) 西川 静華	(学部) 経済学部
<p>1 重要事項</p> <p>【研究活動】</p> <ul style="list-style-type: none">● 公共財の自発的供給に関する研究 以前から引き続き、供給されるためにある一定水準の貢献を必要とする公共財への自発的貢献の研究を行った。● 寡占市場でバージョンングが可能な場合の価格戦略と製品選択の研究 タブレット市場のように、同一製品の複数バージョンを各企業が提供できるような市場における価格戦略と製品戦略について 2018 年度から本格的に研究を開始した。● 日本経済学会春季大会、秋季大会、The Tokyo Conference on Economics of Institutions and Organizations、京都大学経済研究所マイクロ経済学・ゲーム理論研究会、ゲーム理論ワークショップなどに参加した。 <p>【教育活動】</p> <ul style="list-style-type: none">● 講義：初級マイクロ経済学Ⅰ、Ⅱ、ゲーム理論Ⅰ、Readings on Economics/ManagementⅠ、Ⅱ 経済学のコア科目であり習得が困難である初級マイクロ経済学を 300 人超に対して効率的かつ能動的に学習させるため、各学期 3 回ずつ課題を提出させ、中間試験と期末試験を実施した。 数学の一分野でありマイクロ経済学でも用いられるゲーム理論では高校までに習得したどの分野とも異なる思考の方法を要求されるため、講義中に繰り返し演習問題を出し、4 回課題を提出させ、期末レポートと期末試験を実施した。 Readings on Economics/Management では初級マイクロ経済学の英語による教科書と Wall Street Journal などの記事を講読した。● 基礎演習 主にマイクロ経済学の教科書を輪読し基礎的な知識を身に着けると共に、時事問題をマイクロ経済学を用いて分析する練習として様々なトピックを用いて討論した。またゼミ合宿を実施し、見学や観光を通じて経済学をより身近に感じてもらうことができた。	
<p>2 その他の事項</p> <p>【学内】</p> <ul style="list-style-type: none">● 教養教育委員会● 新任人事業績審査委員会● オープンキャンパスにて模擬講義（平成 30 年 8 月 5 日）● 高崎経済大学地域科学研究所「産業研究」論文査読● 高崎経済大学経済学会 学生懸賞論文 査読 <p>【学外】</p> <ul style="list-style-type: none">● ラジオ高崎 ラジオゼミナール出演● 英文ジャーナル 論文査読	

3 次年度以降の計画・抱負

- 研究面では、2018年度から引き続き二つの研究を進めるとともに、常に新しい研究題材を探すために学会や研究会に積極的に参加していきたい。
- 教育面では3年次の演習でグループ研究を指導し、その過程で学生に能動的に研究をする楽しみを知ってもらいたい。